

令和元年9月24日

各 部局長 様

犬山市長 山田 拓郎

令和2年度当初予算編成方針について(通知)

令和2から5年度を計画期間とした本年度実施計画の策定に係る各課のヒアリングを終えて、今後犬山市が取り組むべき概ねの事業を把握したところである。そこで実施計画に計上された事業の実施を前提とした今後4年間の財政シミュレーションによると、財政健全化の指標とすべき財政調整基金の残高が確保すべき額を大幅に下回る結果となり、余力を残した予算編成を行うことが困難な現実に至っている。シミュレーションでは、各年度とも歳出が超過した結果から単に事業を先送りするのではなく、真に事業選択と優先順位を明確にした上で、例年以上に厳格な査定と調整による予算編成を進めていかなければならない。

従って予算の要求にあたっては、より入念な作業のもと確実な積算を行うことで不用となる額の発生を極力抑えるとともに、既成概念を脱却し工夫をもって予算編成に取り組むことを基本とする。引き続き「子どもから高齢者までが幸せに暮らし、産業が栄える犬山」を目指し、次に示す事業を軸として令和2年度の予算編成を目指すこととする。

～ 軸 とする事業 ～

①地域経済の活性化と民間活力の創出を目指した都市交流拠点の整備

- ・道の駅推進

都市整備 (定住促進と基盤整備の前進!)

②安全安心のまちづくりの推進

生活・防災 (活躍・安心できるまちづくりへ前進!)

- ・浸水被害対策 (五郎丸北、犬山地区・五ヶ村)、防災重点ため池の改修、防犯・防災対策救急車の増車による急病時の対応強化、学校等の安全対策

③子どもたちの教育環境と読解力向上の取り組みの充実

子育て教育 (子育てしやすいまちへ前進!)

- ・小学校舎の計画的改修、子どもの読解力向上の授業づくり、子ども読書活動の推進、図書館機能更新

④少子高齢化による社会保障費が増大する中で医療・保健・福祉施策を拡充

医療福祉 (健康・老後・福祉の拡充へ前進!)

- ・医療・保健・福祉に係る現行サービス水準を維持、福祉バスの更新、介護手当の増額産後ケア事業の実施

⑤産業振興の推進

産業振興（民間活力創出へ前進！）

- ・商業集積ラインへの商業立地、産業集積誘導エリアへの企業立地、農業担い手育成、観光戦略策定

⑥望ましい環境像の実現

環境（環境先進都市へ前進！）

- ・環境基本計画の改訂
- ・省エネなど環境負荷低減技術の導入
- ・SDGsの理念を活かした全庁的な施策の推進

⑦懸案事項の解決

懸案事項（問題解決へ着実に前進！）

- ・広域ごみ処理施設整備、塔野地田口洞地区地元要望対応、富岡荒井線等の都市計画道路整備

⑧賢い都市経営の推進

行政改革（賢い都市経営の前進！）

- ・遊休資産の売却・民間活用、ふるさと納税の活用、市街化区域内の低・未利用地の利活用の促進による財源の確保
- ・情報技術を活用した業務改革の推進（AI活用ウイルス対策、自治体クラウド、先進的情報技術を活用した業務改革）
- ・ファシリティマネジメントの推進（旧天神汚水処理施設解体、福祉会館解体、楽田出張所移転、犬山西公民館解体、大手門まちづくり拠点施設活用）

「子どもから高齢者までが幸せに暮らし、産業が栄える犬山」を実現する手段として
取り組む“予算編成”に求められる三つの視点

～以下の視点に留意の上で進めてください。～

①市民サービス革命の推進

- ・既成概念にとらわれることなく創意工夫による市民サービス・効率性・付加価値の向上
- ・業務の総点検、総見直し（常に事務・事業を検証しあるべき姿を追求）
- ・アンテナを高くし先進自治体や民間のノウハウを活かした事業の組み立て

②情報公開 ナンバー1へ

- ・事業効果と市民の信頼を高めるための見せ方・伝え方の工夫
- ・市が保有する情報の中で公開できるすべての情報について市民と共有する。

③職員＆各課「総働」によるアイデアを活かした財源確保

- ・民間を含めた新たな補助金等を獲得するための積極的な情報収集
- ・あらゆる市有財産を対象に、その活用によって新たな財源を創出する。